慣用句(上級)プリント3

月　日　名前 _____

問1　「息を凝らす」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 息を凝らして肺の空気をすべて出した。
2. 息を凝らして大きな声で歌を歌った。
3. 息を凝らして激しく運動をした。
4. 物陰から獲物を狙うため、息を凝らした。

問2　（　）々諤々の議論を通じて、より良い案が生まれた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 侃
2. 言
3. 話
4. 論

問3　採算が取れないため、この計画から（　）を引くことにした。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 足
2. 手
3. 腰
4. 肩

問4　「喧々囂々」の意味はどれですか？

1. お互いに意見を出し合って議論するさま
2. 怒って激しく相手を罵倒するさま
3. 大勢が口々に騒がしく言い立てるさま
4. 少人数で静かに話し合いを進めるさま

問5　「手綱を緩める」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 仕事が一段落したので、ネクタイの手綱を緩める。
2. 部下の自主性を重んじ、少し手綱を緩めることにした。
3. 緊張していたので、靴紐の手綱を緩めてリラックスした。
4. 締め切りが近づいたので、手綱を緩めて作業を急いだ。

問6　「身を寄せる」の意味はどれですか？

1. 集団の中で自分の居場所を確保する
2. 寒さをしのぐために、誰かのそばに近づく
3. 自分の体を壁や柱にぴったりとつける
4. 頼る所がなく、他人の家に住まわせてもらう

問7　慣用句（たとえ）としての「芽が出る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. この計画は芽が出るほど難しい。
2. 庭の土から小さな芽が出た。
3. 努力が報われ、ようやく芽が出た。
4. 芽が出るように水をたくさんまいた。

問8　「尻馬に乗る」の意味はどれですか？

1. 他人の言動に便乗して、自分も同じような振る舞いをする
2. 馬の後ろに乗って、目的地まで運んでもらう
3. 他人の意見を無視して、自分の主張を押し通す
4. 他人の失敗を笑って、自分だけ得をする

問9　将来の進路について父は（　）を曇らせた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 眉
2. 口
3. 鼻
4. 顔

問10　「骨を埋める」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 骨を埋めるような重労働はもう辞めたい。
2. この会社に骨を埋める覚悟で全力を尽くすつもりだ。
3. 庭に骨を埋める場所がないので困っている。
4. 彼は骨を埋めるほど、深く穴を掘り進めた。

問11　売上が（　）打ちになり、対策を練る。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 足
2. 腕
3. 頭
4. 肩

問12　足が痛む祖母に（　）を貸して、駅まで歩いた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 肩
2. 腕
3. 腰
4. 足

問13　「蚊帳の外」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は蚊帳の外を歩いて、目的地までたどり着いた。
2. 蚊帳の外で寝ていたので、蚊にたくさん刺されてしまった。
3. 蚊帳の外にいると、中の様子がよく見えて安心だ。
4. 計画の立案から蚊帳の外に置かれ、意見を言えなかった。

問14　「顰みに倣う」の意味はどれですか？

1. 目上の人の教えに従い、礼儀を尽くす
2. 善悪の判断をせず、ただ他人の真似をする
3. 他人の意見を尊重し、自分の考えを改める
4. 過去の失敗を教訓にして、慎重に行動する

問15　「見る目がある」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 遠くの看板を見る目があるから、道に迷わない。
2. 彼は暗い場所でも物を見る目がある。
3. 無名の新人を発掘するとは、君は見る目があるね。
4. 健康診断で視力を測り、見る目があると言われた。

問16　相手の（　）をかいて、勝利を収めた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 裏
2. 横
3. 表
4. 角

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)プリント3　答え合わせ・解説

問1　答え 4　物陰から獲物を狙うため、息を凝らした。
「息を凝らす」の正しい使い方は「物陰から獲物を狙うため、息を凝らした。」です。 意味は「呼吸の音さえさせないようにして、神経を集中させる」です。

問2　答え 1　侃
「侃々諤々」の「侃」の部分が入ります。 意味は「正しいと思うことを堂々と主張して議論するさま」です。

問3　答え 2　手
「手を引く」の「手」の部分が入ります。 意味は「関与していた物事から関係を断つ」です。

問4　答え 3　大勢が口々に騒がしく言い立てるさま
「喧々囂々（けんけんごうごう）」は「大勢が口々に騒がしく言い立てるさま」という意味です。遠慮せずさかんに議論する「侃々諤々（かんかんがくがく）」と混ざった「喧々諤々」は誤用とされます。

問5　答え 2　部下の自主性を重んじ、少し手綱を緩めることにした。
「手綱を緩める」の正しい使い方は「部下の自主性を重んじ、少し手綱を緩めることにした。」です。 意味は「厳しく管理していたものを、少し放任して自由にする」です。

問6　答え 4　頼る所がなく、他人の家に住まわせてもらう
「身を寄せる」は「頼る所がなく、他人の家に住まわせてもらう」という意味です。

問7　答え 3　努力が報われ、ようやく芽が出た。
慣用句の「芽が出る」は、「才能が認められたり、努力が実って成功の兆しが見えたりすること」を意味します。そのため「努力が報われ、ようやく芽が出た。」が正しい使い方です。

問8　答え 1　他人の言動に便乗して、自分も同じような振る舞いをする
「尻馬に乗る」は「他人の言動に便乗して、自分も同じような振る舞いをする」という意味です。

問9　答え 4　顔
「顔を曇らせる」の「顔」が入ります。意味は「心配や悲しみなどのために、暗く沈んだ表情をする」です。

問10　答え 2　この会社に骨を埋める覚悟で全力を尽くすつもりだ。
「骨を埋める」の正しい使い方は「この会社に骨を埋める覚悟で全力を尽くすつもりだ。」です。 意味は「その土地や仕事に一生を捧げる覚悟で定住すること」です。

問11　答え 3　頭
「頭打ちになる」の「頭」の部分が入ります。 意味は「物事の成長や上昇が限界に達し、それ以上伸びなくなる」です。

問12　答え 1　肩
「肩を貸す」の「肩」が入ります。歩くのが大変な人の体に寄り添って、肩で体を支えて助けるという意味の慣用句です。

問13　答え 4　計画の立案から蚊帳の外に置かれ、意見を言えなかった。
「蚊帳の外」の正しい使い方は「計画の立案から蚊帳の外に置かれ、意見を言えなかった。」です。 意味は「仲間はずれにされて、物事に関与できない状態にあること」です。

問14　答え 2　善悪の判断をせず、ただ他人の真似をする
「鸚みに倣う」は「善悪の判断をせず、ただ他人の真似をする」という意味です。

問15　答え 3　無名の新人を発掘するとは、君は見る目があるね。
「見る目がある」の正しい使い方は「無名の新人を発掘するとは、君は見る目があるね。」です。 意味は「物事の良し悪しや価値を正しく判断する能力がある」です。

問16　答え 1　裏
「裏をかく」の「裏」の部分が入ります。 意味は「相手の予想を裏切るような行動をとって、出し抜くこと」です。